

後期高齢者医療制度の創設に関する陳情書

< 陳情内容 >

75歳以上の人を対象にした「後期高齢者医療制度」において、市独自の保険料補助制度の創設、低所得者などへの広域連合による保険料減免制度の創設、健診事業と葬祭事業の従来施策の継続、保険料滞納者への資格証不発行を求める。

鈴木議員は採択すべきとの意見を述べました

< 大要 > 来年4月から始まる予定の「後期高齢者医療制度」はさまざまな問題点をのこしている。

その一つは保険料について、高すぎることで、年金から天引きされること、滞納者からは保険証がとりあげられることなどである。

また、病気の早期発見・治療に大切な役割を果たしてきた健康診断の有料化、加入者が死亡した時に家族へ支給される葬祭費が削られる危険性がある。

陳情にあるように、保険料を低く抑えるしくみや無料での健康診断の継続など、誰もが安心して受けられる医療制度にすべきである。

< この陳情は、厚生委員会で趣旨採択されました >

福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情書

< 陳情内容 >

福祉人材の確保が図られるよう、職員の賃金・労働条件の向上や職員配置基準の改善にむけて、羽村市独自の施策充実と国・都への意見書提出を求める。

鈴木議員は採択すべきとの意見を述べました

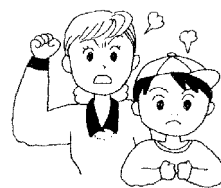
< 大要 > 「福祉の担い手はワーキングプア」「介護の人材が逃げていく」などの報道がつづいている。賃金の低さ、労働条件の厳しさが理由である。

民間の調査でも、福祉・介護の担い手は30歳未満の若者が中心で、極めて流動化が激しく、多くの人賃金が低く自立した生活ができない状態にあることが指摘されている。

こうした状況を改善し、福祉人材の確保がなされるよう、市独自の施策を充実すること、国や都への意見書を提出すべきである。

< この陳情は、厚生委員会で趣旨採択されました >

「後期高齢者医療制度」についての質疑の中で、羽村市での平均保険料は、年額82,660円と推計され、平均国保料の72,912円から大きく値上げされることがあきらかになりました。暮らしを直撃する改悪をストップするため声をあげましょう！



鈴木たくや 議員

委員会での審査を終えて

厚生委員会での陳情審査は、採択が1件、趣旨採択が3件という結果となりました。

いずれの陳情も市民の暮らしや健康を守るために、大切な指摘と要望がなされており、私はすべてについて採択すべきとの発言をおこないました。

残念ながら「趣旨採択」となった3件の陳情について、他議員からは「趣旨はわかるが、それに必要となる予算はきびしい」旨の発言がなされました。

共産党が提案している 大企業・大資産家への適切な税負担を求めること、聖域となり無駄づかいの温床になっている軍事費にメスを入れることなど、政治の転換が急務です。

暮らしや健康を守る政治の役割を充実させるために、ひきつづき力つくしていきます。